

2025 年 5 月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、総じて弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2025 年 5 月 22 日公表）において、「景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる」との表現に変更された。個別項目では、「輸入」において、「このところ持ち直しの動きがみられる」との判断に引き上げられる一方で、世界経済については「持ち直しが緩やかになっており、一部の地域において足踏みがみられるほか、米国の通商政策による不透明感がみられる」との判断に引き下げられた。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に 4 月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「公共投資」、「住宅建設」、「輸出」に関する判断が維持された。「輸入」については、「このところ持ち直しの動きがみられる」との判断に引き上げられた。アジア圏から情報通信機器、自動車部品等の輸入が増加した。

② 企業活動に関して、「業況判断」「生産」「企業収益」「倒産件数」に関する判断は維持された。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「緩やかに上昇している」、「消費者物価」については、「上昇している」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「持ち直しが緩やかになっており、一部の地域において足踏みがみられるほか、米国の通商政策による不透明感がみられる」との判断に引き下げられた（判断引き下げは 10 か月ぶり）。米トランプ政権による関税措置への懸念が強まっている。その米国でも 1～3 月の実質 GDP 成長率が前の 3 か月に比べてマイナス 0.3%となり、4 年ぶりにマイナスに転じた。その結果、景気判断は「景気の拡大が緩やかとなる中、関税率引上げに伴う駆け込み需要や通商政策による不透明感がみられる」に引き下げられている。その一方で、ヨーロッパ地域については、1～3 月期の実質 GDP 成長率がプラスだったドイツ・英国の景気判断が引き上げられている。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（4 月）は、前年同月比 2.9%増となり、2 か月ぶりに前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（4 月）は、前年同月比 2.1%増（増加は 4 か月ぶり）だった。食料品の価格上昇は継続しており、家計の節約志向の強まりが懸念される。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、4 月）は、前年同月比 6.8%増となり、4 か月連続で前年を上回った。前年同月は、大手自動車メーカーによる認証不正問題で販売台数が大きく落ち込んでおり、今回の増加については、その反動増と考えられる。

新設住宅着工戸数（4 月）は、前年同月比 14.7%増となり、2 か月ぶりに前年を上回った。ただし、1～4 月累計での新設住宅着工戸数も前年同期比 1.8%減となっている。着工戸数の減少傾向が続いている。

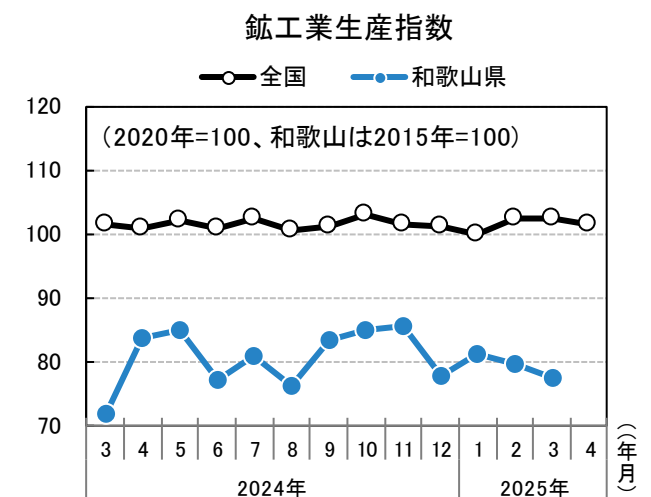
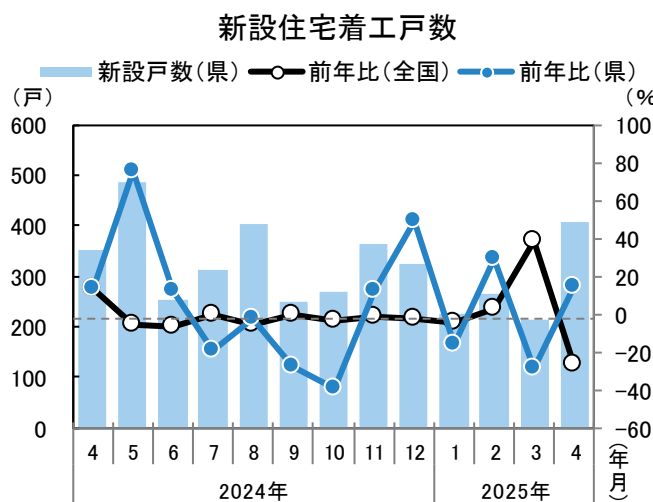
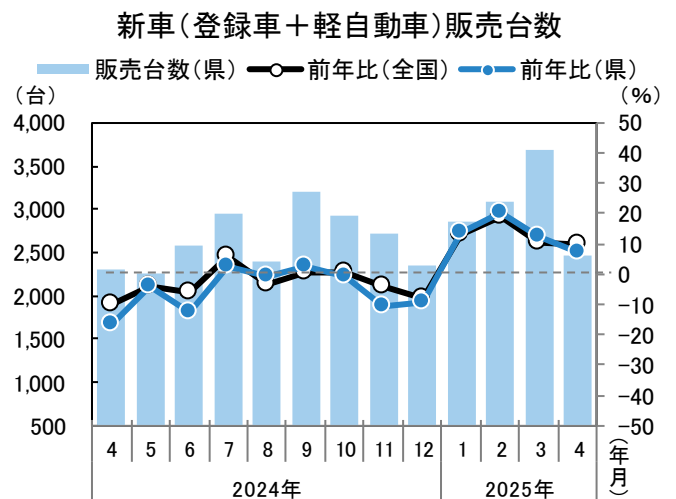
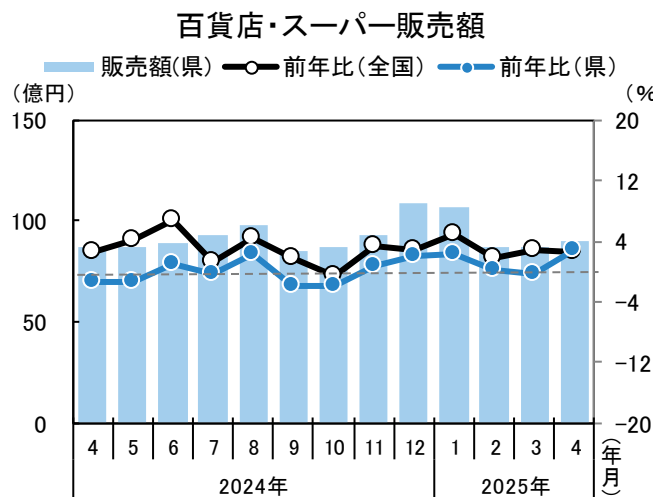
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（3 月）は、前月比 2.2 ポイントの下降となった。

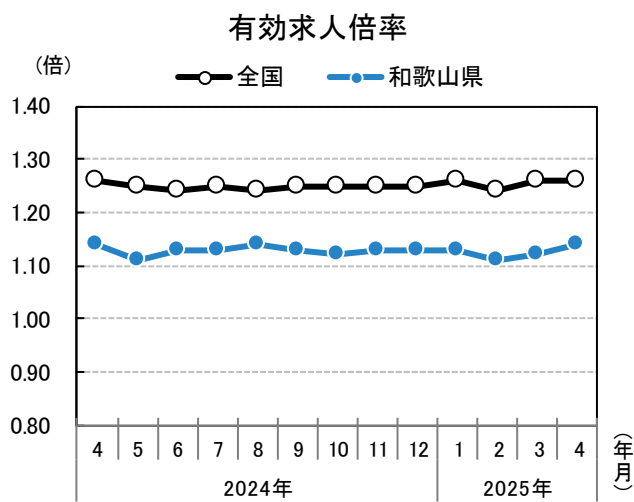
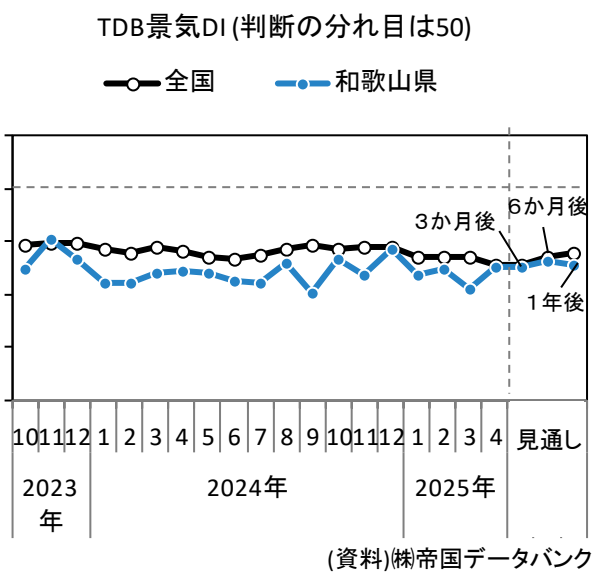
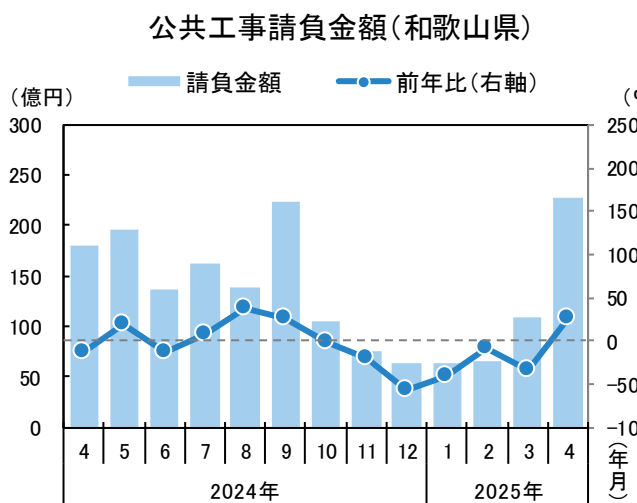
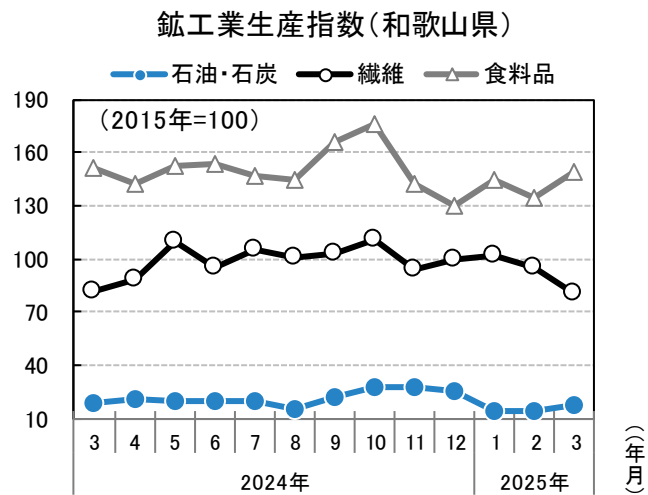
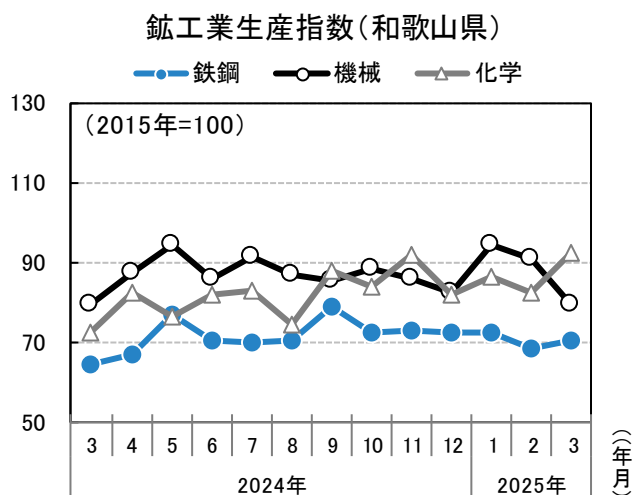
主力業種であるはん用機械工業、生産用機械工業の生産指数が大幅に下降した。

公共工事請負金額（4月）は、前年同月比 25.8%増と大きく増加した。2021 年度以降、減少基調が続く県内公共工事請負金額にあって、今後の動向が注目される。

帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI（4月）は、前月から 1.9 ポイント上昇した。前年 8 月以降、県内景気 DI は一進一退の状況が続いている。

③ 雇用面については、有効求人倍率（4月）は、前月比 0.02 ポイント上昇し、1.14 倍となった。ただし、今回の倍率上昇は、有効求職者数の減少が主因である。有効求人数は 3 か月連続で減少している。このような状況を受けて、和歌山労働局は、「緩やかに持ち直しの動きがみられるが、求人の一部に足踏み感がある」との判断を維持しており、「物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」と指摘している。





(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年3月	87.2	6.6	1.5	3,283	-20.5	-16.7	305	-12.8	12.5
4月	87.2	2.7	-1.3	2,301	-10.1	-16.4	354	13.9	13.5
5月	87.1	4.2	-1.5	2,256	-4.2	-4.0	488	-5.3	75.5
6月	89.4	6.7	1.1	2,590	-6.2	-12.9	253	-6.7	12.4
7月	93.0	1.2	-0.4	2,940	5.6	2.6	314	-0.2	-19.5
8月	98.3	4.5	2.3	2,390	-3.6	-0.8	404	-5.1	-2.7
9月	85.5	1.8	-2.0	3,210	0.6	2.5	249	-0.6	-28.0
10月	86.9	-0.6	-1.8	2,915	0.7	-0.9	269	-2.9	-39.7
11月	92.9	3.3	0.7	2,717	-4.4	-10.9	364	-1.8	12.0
12月	108.5	2.8	2.1	2,342	-8.0	-9.5	326	-2.5	49.5
2025年1月	106.7	4.9	2.4	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6
2月	86.8	1.9	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8
3月	87.0	2.8	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7

(2025年5月30日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1,711.6	8.0	
2024年3月	101.4	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	164.9	-42.2	42.0
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.7	142.4	180.4	-12.3	42.2
5月	101.9	85.0	76.7	94.1	76.4	19.1	110.0	152.7	196.1	20.3	42.1
6月	100.7	76.9	70.5	85.6	82.0	19.9	95.5	153.2	135.9	-12.5	41.2
7月	102.5	80.9	69.9	91.3	82.9	20.1	104.7	146.3	163.4	8.6	41.1
8月	100.5	76.2	70.5	86.9	74.5	15.2	100.5	144.2	139.5	37.2	43.0
9月	101.2	83.4	78.9	85.4	87.9	22.1	102.8	166.0	223.2	26.2	40.2
10月	103.0	85.0	72.4	88.3	83.8	27.6	110.8	176.2	104.9	-1.5	43.4
11月	101.3	85.5	72.6	85.7	91.9	28.0	93.5	141.9	74.7	-19.0	41.9
12月	101.0	77.7	72.5	82.2	81.7	25.0	99.4	129.9	63.8	-55.7	44.2
2025年1月	99.9	81.2	72.5	94.3	86.4	14.1	101.7	144.0	63.9	-40.7	41.8
2月	102.2	79.6	68.3	91.0	82.5	13.4	94.7	134.8	65.7	-8.1	42.4
3月	102.4	77.4	70.3	79.1	92.3	17.7	80.0	148.7	109.4	-33.6	40.6
4月	101.5								226.9	25.8	42.5

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2025年5月30日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,340	14,409	14.7	18.2
2024年3月	1.27	1.13	16,557	14,611	17.1	24.2
4月	1.26	1.14	16,466	14,458	16.5	19.3
5月	1.25	1.11	16,310	14,640	15.3	21.3
6月	1.24	1.13	16,504	14,627	14.5	17.7
7月	1.25	1.13	16,433	14,516	13.2	16.5
8月	1.24	1.14	16,484	14,442	12.6	13.7
9月	1.25	1.13	16,340	14,492	12.7	17.7
10月	1.25	1.12	16,265	14,532	14.5	16.4
11月	1.25	1.13	16,439	14,607	13.2	17.0
12月	1.25	1.13	16,484	14,619	12.0	14.7
2025年1月	1.26	1.13	16,565	14,600	10.2	13.5
2月	1.24	1.11	16,292	14,683	12.3	18.3
3月	1.26	1.12	16,274	14,492	18.4	22.5
4月	1.26	1.14	16,192	14,194	15.0	20.2

(2025年5月30日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。